

2010年  
6月13日 日

発行所：北海道新聞社  
札幌市中央区大通西3丁目6  
〒060-8711 電話：011-221-2111  
www.hokkaido-np.co.jp

読者センター  
011-210-5888

ご購読申し込み  
0120-464-104  
ダイヤル 104

旭川大雪アリーナ  
花火大会  
2010

## オホーツク

## 企業ファイル ⑨

試薬や臨床検査機器などを医療機関や研究所などに販売する理化学分野の総合会社。道東一円で営業展開し、今年3月期決算の売上高は過去最高の42億1千万円。この分野で道内屈指の位置に付けている。

沿革が興味深い。痔の薬として知られるポラギノールを1921年（大正10年）に開発したのが



小沢実之郎社長

### 大槻理化学(北見市)

京都の天藤製薬社長大槻欽三。弟繁次郎は北大で薬学を学び36年、北見に大槻中央薬局（戦後大槻中央薬品に改称）を開業した。その理化学部門が77年に分離独立してできたのが大槻理化学だ。

### 水処理剤の製造に進出



本社横にあるPSIの製造設備

<メモ>本社 〒090・0056 北見市御町1の6の2 ☎0157・36・7211▽資本金 3千万円▽従業員数 54人▽ホームページ <http://www.ohtsuki-r.co.jp>

入れているのが水処理剤の製造だ。国内の多くの浄水場が水の濁りを除去するのにアルミ系の凝集剤を使っている。だがより優れた浄化能力を持ち、アルミを使わず人体に安全な鉄とシリカが主成分の新タイプの凝集剤（PSI）に着目。PSIを手掛ける水道機工（東京）とライセンス契約を結び6年前から道内で初めて製造に取り組んでいる。一昨年度内自治体向けに初出荷を果たした。引き合いは順調に増えているという。

小沢社長は「安全な水への志向が高まり、PSI需要は今後増える。芽が出たばかりのこの事業を育てたい」と話す。

はその後ほくやくに。繁次郎は北見商工会議所会頭も務め99年に93歳で死去した。大槻理化学の小沢実之郎が繁次郎だった。「娘と

（相内亮）